

滋賀県知事 三日月大造 様

2024年11月8日

日本共産党滋賀県委員会

日本共産党滋賀県議会議員団

オスプレイの県内上空の飛行に抗議し、飛行中止と撤去を求める要望書

10月20日14時すぎ、米空軍オスプレイ1機が滋賀県上空を飛行しました。航空レーダーサイトによると、同機は横田基地（東京都）を13時15分離陸し、三重県から県内入りし、甲賀、湖南、栗東、草津、大津各市の上空を通過し、京都市内へ。大津市内では、重低音で飛行するオスプレイが目撃されています。29日には、16時10分に岩国基地（山口県）を離陸した米空軍オスプレイが県内上空を飛行し、19時50分に横田基地に着陸しました。

オスプレイは、昨年11月の鹿児島県屋久島沖での墜落事故を受け、全世界で停止したにも関わらず、3月には飛行を再開。しかし、米空軍が8月公表した事故報告書は、「（歯車にひびが入った）正確な根本原因を特定することができなかった」としたうえ、今後の再発防止策も示しておらず、同じような墜落事故が起きる危険は残されたままです。オスプレイの構造的な欠陥は明らかであり、すべて撤去するしかありません。

また、県内上空を通過したオスプレイは、23日からはじまった自衛隊と米軍による日米共同統合実動演習（キーン・ソード＝鋭い剣）に参加していたことが、航空レーダーや横田基地の監視団体の情報からわかりました。「キーン・ソード」は、台湾有事での中国と米国の武力衝突を想定し、米軍のアジア最大の出撃・中継・補給拠点である日本が戦場になることを前提とした軍事演習です。自公政権が2022年に策定した安保3文書に基づく「戦争国家」づくりの一環です。

この訓練では、陸自のV22オスプレイが27日、与那国駐屯地を離陸しようとした際、機体が揺れ、一部が地面と接触して損傷する事故を起こしました。V22は23日にも海自鹿屋基地（鹿児島県）に緊急着陸しています。陸自は保有する全17機の飛行を中止しました。同機の欠陥ぶりを改めて示しています。

事故を繰り返すオスプレイの飛行は断じて許されません。沖縄県知事、県議会をはじめ、全国各地で抗議の声が強まっています。

県民の命と安全を守る滋賀県として、欠陥機オスプレイの県内上空飛行に抗議し、飛行中止と、日本からの撤去を強く働きかけることを要望します。

同時に、大軍拡など「軍事対軍事」の「戦争国家」づくりは、中国との緊張を強め、日本に戦火を招く危険を高めます。今こそ、東アジアに平和を構築する憲法9条に基づく外交を強く求めます。

記

- 1、県は、国と米軍に対し欠陥機オスプレイの飛行中止を求めること。
- 2、県は、国と米軍に対し欠陥機オスプレイの撤去を求めること。
- 3、県は、国に「戦争国家」づくりを中止し、平和を構築する外交を求めること。

以上